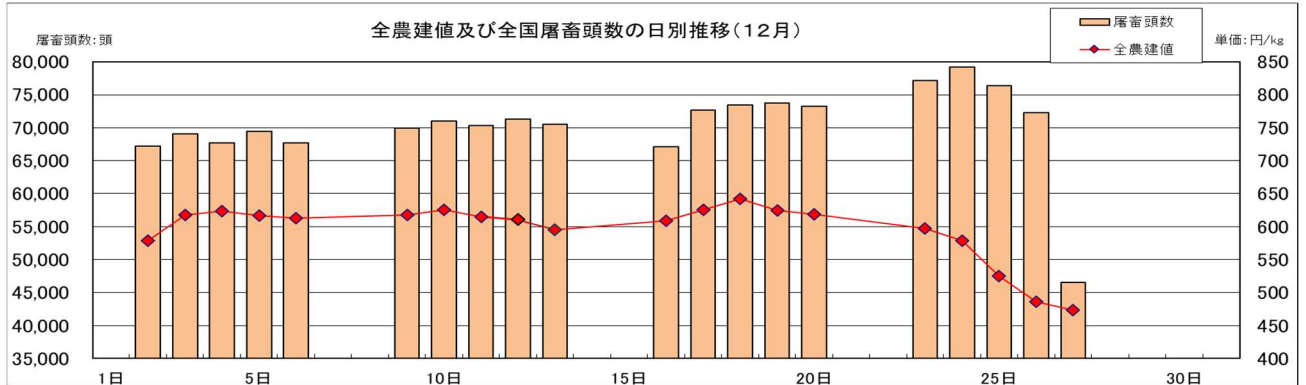


肉豚インフォメーション (12月)

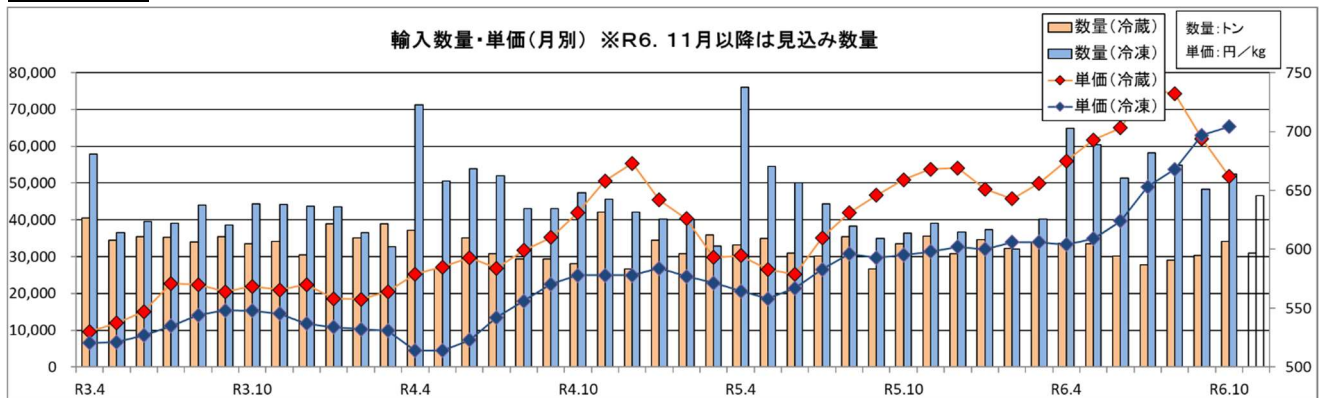
●12月の動向

2024年12月(税抜)	2023年12月(税抜)	
595 円/kg (78 円高)	517 円/kg	※全農建値

12月は暖冬傾向にあった気候から急激に気温が下がり寒さが本格化したこともあり、鍋需要が強まりから相場は高値を維持する展開となった。月末は年末年始の長期休暇に向けた手当が落ち着いたことで、相場は急落した。

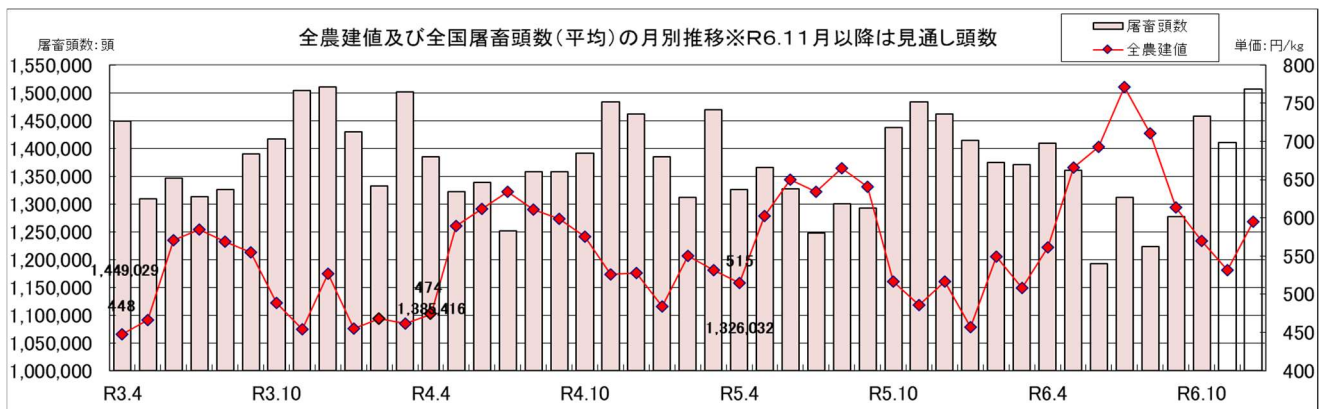


●輸入動向



●1月の動向

1月の出荷頭数については、前年同月よりやや減少、相場は堅調な相場展開と予測。

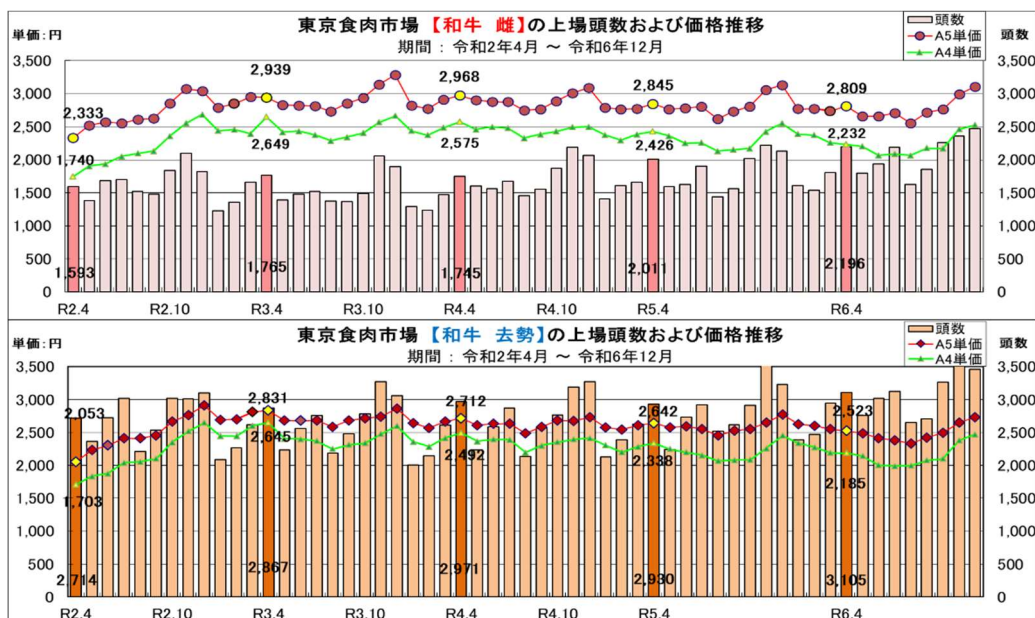


全農建値(税抜) 予測レンジは 500 円～550 円とする。

肉牛インフォメーション (12月)

●12月の動向

12月の相場は上場頭数が多く、中旬ごろまで和牛・交雑ともに強もちあいで推移し、最終週は手当が落ち着いたことで反落した。



●1月の動向予測

1月の相場は、昨年12月が強もちあいで推移したことから、下旬にかけて全体的な引き合いは弱めと予測する。

1月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

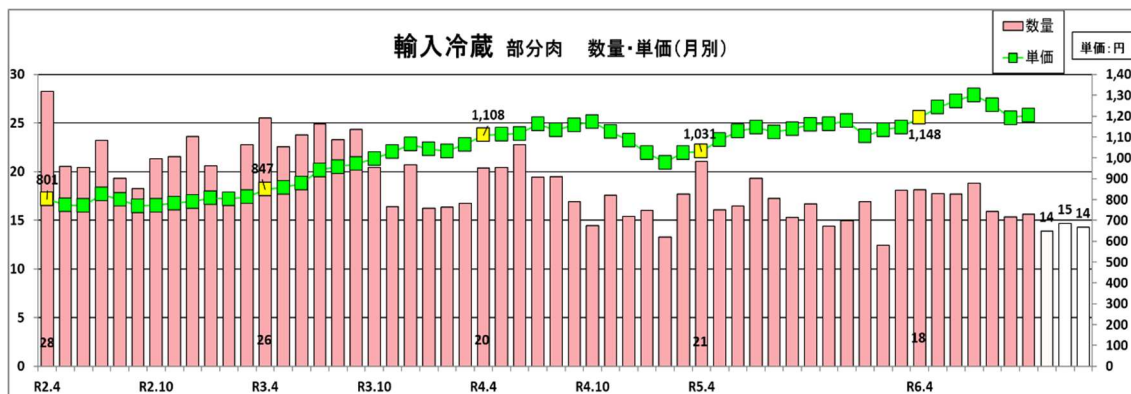
和牛去勢 A5等級 2,500円（税込み） A4等級 2,350円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,700円（税込み） B3等級 1,500円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要の低迷により低調に推移する中、主要輸入先の米国産輸入量の減少が見込まれること等から、12月はわずかに、1月はかなり大きく、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

(ALIC 牛肉の需要予測について12月25日)



食肉インフォメーション（12月）

●12月の動向

○牛肉

例年12月は牛肉の最需要期で年末年始に向け、販売が活発になる。

好調なインバウンドや忘年会など外食需要は回復基調で荷動きは良く、活発な枝肉の動きも見られた。

価格高騰が続く輸入牛肉の代替として和牛・交雑牛の需要が増加したが、消費者の低価格志向からロイン系等の高級部位は伸び悩んだ。

○豚肉

気温低下に伴い鍋物需要が増加し、バラやカタロースなどのスライス材の販売が好調となった。また、忘年会などイベントの機会も増えたことから、ロースの荷動きも堅調。スソ物については、学校給食が冬休みの影響から荷動きは鈍ると思われたが、物価高による節約志向や輸入豚の高騰による代替需要から堅調な動きとなった。

●1月の動向予測

○牛肉

年始の三が日から成人の日にかけてはハレの日需要が期待できるが、その後は反動で落ち込む時期になる。また消費者の生活防衛意識の強まりも相まって、需要はスソもの中心となる為、和牛ロースなど高級部位をどう販売していくかが課題となる。

○豚肉

1月は年末年始の出費の反動もあり、需要が鈍る傾向がある。学校給食の再開や、値上げラッシュに伴う消費者の節約志向から、ウデ・モモのスソ物や挽材に需要が集中すると予測される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年11月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度11月	29,924	13,531	33,284	19,684	10,601	5,952	112,976
令和5年度11月	28,710	12,422	40,693	20,867	10,424	6,011	119,127
令和6年度11月	31,305	11,691	46,298	20,060	9,254	5,889	124,497
増減（R5-R6）	2,595	-731	5,605	-807	-1,170	-122	5,370
対比（R4/R6）	105%	86%	139%	102%	87%	99%	110%
対比（R5/R6）	109%	94%	114%	96%	89%	98%	105%